

日米共同Unityによるバーチャル空間・ロボット設計・開発・感性評価

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2021年05月24日 ～2021年07月09日	日本	デポー大学	<ul style="list-style-type: none"> ・情報工学科 ・電気電子情報工学専攻 ・情報工学科 ・先進国際課程 ・学部3年生 ・学部4年生 ・修士1年生 ・修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生4名、TA1名、教員4名 (デポー大学) 学生4名、教員2名	菅谷 みどり(情報工学科) 大倉 典子(SIT総合研究所) SRIPIAN PEERAYA(情報工学科) LAOHAKANGVALVIT TIPPORN(先進国際課程)

1. Introduction (Organizers)

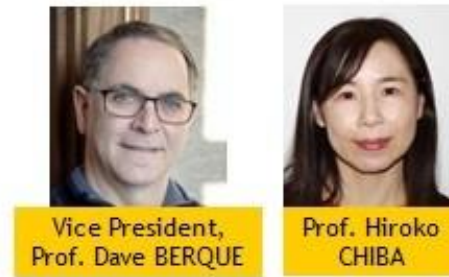


図1 オーガナイザー

本gPBLは、芝浦工大・DePauw 大学連携によるgPBLで、芝浦工大が主導し、本学の4年生および大学院の学生とDePauw大学の学部生の計8名で、5月-7月に実施した。日米の学生がグループとなり、バーチャル空間の中で動作するコンパニオンロボットを設計・開発し、評価した。5月までにチームメンバー(各チームは米大学生2名とSIT 2名)を決め、5月下旬から7月上旬まで共同作業を行った。学生同士はSlackやzoom等を使用し情報交換し、毎週1回全体の定期ミーティングをzoomで行った。7月上旬には、コンパニオンロボットのデモを行い、脳波と心拍で感性評価を実施した。



図2 コンパニオンロボット



図3 フェアウェルミーティング